

みどりかがやく

良く変われ！自分

人は日々変わっていきますが、生徒の成長は目を見張るものがあります。その成長の様子を見ることが、私たち学校に勤務するものの喜びでもあります。生徒を大きく成長させるものに行事があります。本日は令和になってから初めての体育祭です。生徒たちは種目の勝ち負けに一喜一憂しますが、私はこの体育祭を創り上げるまでの過程に多くの成長を感じています。

中学校3年間は生徒の心が大きく揺れ動く時期でもあります。体育祭の取組に真剣さがないと指摘され、諍いがおこったり、一生懸命取り組もうとするあまり言い争いが起こったりします。しかし、そのような過程を経ながら、自分の気持ちを相手に適切に伝えることの難しさを感じたり、相手の言葉や態度を受け入れる際の行動を考えたりして、自分自身を成長させていくのだと思います。

生徒は日に日に変わっていきます。わがままだった自分に気付いたり、人の気持ちを受け入れられるようになったりします。昨日よりも今日、今日よりも明日と、よりよく自分を変えていきたいものです。

本校の花壇も1年前は雑草が茂っていました。昨年秋に、春に咲くヤグルマソウ、パンジー、ピオラ、ノースポールを保護者の方にきれいに植栽していただきました。今は夏に咲く花、マリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニアに変わっています。これらは生徒たちが植えたものですので、まっすぐに植えられていないところもあります。しかし、自分たちの手で植えることで、植物を栽培することの責任感をもつことができ、これもまた自分を成長させる機会になると考えています。

この学校だよりが手に渡るころには、体育祭の勝敗も決まっていることと思います。生徒の皆さんには勝っても、そうでなくても、準備も含めて精一杯取り組んだ自分に誇りを持って欲しいと思いますし、友だちや先生方、そして、応援してくださった保護者や地域の方に感謝の気持ちをもってもらえると嬉しく思います。



まっすぐに並んでいるわけではありませんが、生徒たちの手で植えたマリーゴールド、ニチニチソウ、ペチュニアの花